

令和6年度（2024年度）年間授業計画表									
学年	3	コース	S理系	選択形態	理系	科目	数学Ⅱ演習	単位	5
学習目標	2年生で学んだ数学Ⅱ、数学Bの範囲内で日東駒専レベルの入試問題が解けるようにする。								
使用教科書			副教材					予定時間数	175
単元と内容									
1学期	数学Ⅰ、数学Aの入試問題演習			私大一般入試に向けて必須問題に取組み解答できるようにする。					
2学期	数学Ⅱ、数学Bの入試問題演習			私大一般入試に向けて必須問題に取組み解答できるようにする。					
3学期									
評価									
評価の観点		評価の趣旨			評価対象				
					1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能	・ 基本的な概念や原理・法則を定型的に理解している。			○	○			
②	思考力・判断力・表現力	・ 数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、家庭を振り返り多面的・発展的に考える。			○	○			
③	主体的に学びに向かう態度	・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。			○	○			
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力		③ 主体的に学びに向かう態度				
	定期考査 100%		定期考査 100%		各種提出物 100%				

令和6年度（2024年度）年間授業計画表									
学年	3	コース	特進選抜 特進	選択形態	理系選択	科目	数学Ⅲ	単位	4 5
学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。								
使用教科書	数学Ⅲ Advanced		副教材	チャート式 基礎からの数学Ⅲ				予定時間数	140 175
単元と内容									
1学期	1章 関数と極限			関数					
				数列の極限					
				関数の極限					
	2章 微分			微分法					
				いろいろな関数の導関数					
2学期	3章 微分の応用			接線、関数の増減					
				微分のいろいろな応用					
	4章 積分の応用			不定積分					
				定積分					
				面積・体積・長さ					
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		・ 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。				○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		・ 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 ・ いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		・ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				○	○	○
評価方法	①			②			③		
	定期考査 100%			定期考査 100%			各種提出 100%		

令和6年度（2024年度）年間授業計画表									
学年	3	コース	特進選抜 特進	選択形態	必修 理系必修	科目	数学Ⅲ	単位	4
学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。								
使用教科書	数学C Advanced		副教材	チャート式 基礎からの数学C				予定時間数	140
単元と内容									
1学期	1章 ベクトル			平面上のベクトル					
				ベクトルの応用					
				空間におけるベクトル					
	2章 平面上の曲線			2次曲線					
				媒介変数表示と極座標					
2学期	3章 複素数平面			複素数平面					
				図形への応用					
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		・ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。				○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察することができる。 ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察することができる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				○	○	○
評価方法	①			②			③		
	定期考査 100%			定期考査 100%			各種提出 100%		

令和6年度（2024年度）年間授業計画表									
学年	3	コース	特進S文系	選択形態	必修	科目	数学演習	単位	3
学習目標	これまでに学習した数学Ⅰ・A・Ⅱの復習をしつつ、基本的な問題に取り組める力を養うことで、論理的思考を育てていく。大学で経済学・経営学・商学・心理学などを学ぶ際に必要となる数学の基礎をきちんと身に付ける。								
使用教科書			副教材	数研出版 study-aid による担当者作成プリント				予定時間数	105
単元と内容									
1学期	数学Ⅰ ・数と式  ・2次関数			・因数分解や展開の基本から対称式による計算問題ができる。  ・放物線の平行移動・対称移動などができる。2次関数の最大値・最小値問題の基本から発展までを理解できる。					
	数学A ・場合の数・確率  数学Ⅰ ・データの分析			・統計学に繋がるために基礎となる場合の数・確率の基本的な問題が解けるようにする。  ・経済・経営・心理学などでデータの解析に必要な基礎をきちんと理解することができる。					
2学期	数学Ⅱ ・複素数と2次方程式 ・剰余の定理 ・高次方程式			・解と係数の関係や剰余の定理を理解し、高次方程式を解けるようにする。 また、その知識を利用した発展的な問題が解ける。					
	数学Ⅱ ・微分積分			・接線の方程式を求めることができ、それに関連する問題も解くことができる。また、面積も求めることができる。					

評価					
評価の観点		評価の趣旨	評価対象		
			1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能	これまでの学習内容全般における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基本的な知識を身につけている。 ・定期考査      ・小テスト	○	○	○
②	思考力・判断力・表現力	これまでの学習内容全般において数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 ・定期考査      ・提出課題の内容	○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	これまでの学習内容全般に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ・授業への取り組み ・課題、提出物の状況（ノート、プリント、レポート等）	○	○	○
評価方法	①		②		③
	定期考査 70% レポート 15% 各種提出 15%		定期考査 80% 各種発表・まとめ 20%		口頭試問 20% 各種発表・提出課題 80%